

コード	503010103
記入日	H24.6.8

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	今川 広太

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	トライアスロンin上五島大会交流補助事業
----------	----------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50301	基本事業名称	スポーツによる健康づくりの推進	目コード	1
事務事業コード	5030101	事務事業名称	生涯スポーツの普及と振興事業費	細目コード	1020
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) トライアスロンin上五島実行委員会 (対象2)		(対象指標1) 1団体 (対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
(評価年度実績)		*****		*****	*****	*****
*****		① (達成率分析)		1団体	100%	補助金交付団体数÷ 補助金申請団体数 平成23年度
・トライアスロン競技 →スィム2km、ハイク42km、ラン12km、 計56km →レギュラー部門 62人 →リレー部門 10チーム →アクアスロン部門 14人 →参加者 中学生 1人 一般男子 81人 一般女子 23人 計105人 →スタッフ 414人(ボランティア)		② (達成率分析)		補助金申請内容を審査し、当初の計画どおり交付した。		
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)
		*****		*****	*****	*****
・地域の活性化と交流人口の拡大を図ることを目的とする。		① (達成率分析)		105人	98.1%	参加者数÷ 前回参加者 平成23年度
		② (達成率分析)		前回の参加者数を目標としており、交流人口の拡大を図る意味からも、前回を上回る参加選手数が望まれる。		

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 団体	1	1		1	1				
	②									
成果指標	① 人	107	105		107	105				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	2,200	2,200		2,200	2,200				
直接事業費 A	千円	800	800		800	800				
人件費 B	千円	1,400	1,400		1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	0.2	0.2	0.2	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	800	800	800	800				
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,400	1,400	1,400	1,400				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	地域において、6月の第1日曜日はトライアスロン大会の開催が根付き、婦人会や消防団を始め、地域住民のボランティアスタッフとして参加する意識が高まっており、地域の活性化に貢献している。また、大会参加者に好評であり、事業の継続は妥当と考える。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	地域住民が主体となって、実行委員会を組織し開催しており、各種団体の協力体制も確立されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	大会後に参加選手にアンケート調査を行い、アクアスロン部門の増設、距離延長など、参加者増につながる対策を講じながら実施している。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	収支報告によると、参加費の徴収、県・町補助金及び企業協賛のほか実行委員会も負担しており、町補助金支出に見合う結果が得られていると判断する。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理由	実行委員会の負担分がかなりの金額になっていることから補助額の縮小は考えられない。事務量においては、通常の補助金支出処理事務範囲内である。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	地域住民のボランティアや各種団体の協力など地域住民が主体となって開催し、地域の活性化に貢献している。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。